



Writer : Hara Daichi

# no 23

新しい医療のカタチ  
これからの地域社会を担う

jinjukai

## 社会医療法人 仁寿会

皆さんは在宅医療という言葉を知っていますか。これは、患者さんの自宅に医師が訪問して行う医療行為です。入院することなく、自身の住み慣れた自宅で心穏やかに療養できるよう支援します。高齢化社会を迎え、多くの人が医療を必要としている時代だからこそ、患者さんの「幸せ」にまで一歩踏み込んで考える姿勢が求められているのかもしれない。そんな在宅医療を中心に展開する「社会医療法人 仁寿会」は、大田市と川本町を拠点に、医療から介護までの全てを担う医療法人です。仁寿会では、地域に医療を届けるのはもちろん、仕事のなかに楽しみを見つけたり、趣味の時間を大切にしたり、気持ちに余裕を持ちながら働くことが出来ます。これから自分はどうなふうに通い、どんなふう生きていくのか。もしかすると、あなたにぴったりの生き方は、この仁寿会で見つけられるかもしれません。



第三者機関からの表彰がずらり。育児休業や年次有給休暇の取得率、若者の採用・育成に積極的、子育て支援などの優良企業として表彰されています。日本屈指の働きやすい環境であることは間違いありません。



会議の様子。TV会議システムにより、病院と訪問スタッフ、リハビリ施設をつなぎ、多職種で患者の支援をしています。

## 皆が笑顔で働き続けるために

社会医療法人仁寿会 理事長 加藤節司さん

私が理事長に就任して以来、数ある事業の中で特に力を入れているのは「在宅療養支援」です。患者さんにはそれぞれ病気になる前の生活があります。そのため病気になってしまった後も、なるべくその人らしい生活を送れるようにサポートしていくことが大切です。今までの入院前提の医療ではなく、人々の生活の中に必要とされる医療を届ける。生きがいの実現にコミットすることが今の時代に必要なのです。私たちは「地域の人々をもっとも良く知り、その善き人生に貢献することで地域社会を変えていきたい」という想いを胸に、日々奔走しています。そういった地域の頼れるパートナーであるために、仁寿会では働きやすい職場環境の整備が重要と捉え、各種制度を充実させています。それが結果として、患者さんの在宅療養生活の質の向上にもつながると考えているからです。実際に、育児休暇取得率は女性では100%、男性でも85%です。有給休暇の取得率も90%を超えています。新たな資格取得者は年平均2名以上にのぼります。職員一人一人が自分自身や家族、そして同僚の健康を大切に考え、行動し、お互いに助けあい成長できているあかしです。仁寿会の誇りは一人一人の職員なのです。

## Interview

社員さんインタビュー

看護師 中尾さん



アットホームな雰囲気と定時に退社できることが魅力です。この病院では分からないことがあればみんなが教えてくれますし、互いに裏表なく意見を言い合えます。“お互いさま”の精神を大切に、互いに助け合いながら働いています。残っている仕事もみんなフォローし合うので、定時に帰ることができます。

看護師 麻尾さん



私は育児休暇明けで、子どもはまだ小さく保育園の送り迎えが必要なため、午前9時出勤、午後4時退社の「育児のための所定労働時間の短縮」制度を利用しながら働いています。他にも育児産休をとっている職員は8名程います。福利厚生も充実していますし、有給や産休、育児制度への理解もあるので、無理なく働ける環境が整っているのは大きな魅力です。

## Company Date

業種：病院、診療所、介護老人保健施設、介護保険事業所、高齢者向け賃貸住宅  
設立：1932年  
従業員数：227名（2019年12月1日現在）  
理事長：加藤節司  
場所：邑智郡川本町川本383-1  
<http://k-jinju.or.jp/>



◀MACHI TERASU WEBページ

### Q. 福利厚生について教えて！



医療のプロフェッショナルとして成長するための支援も充実。資格取得など働きながらキャリアアップができます。資格取得支援制度を使った資格取得者は55名もいるんです。

